



もぎたて通信

令和8年7月16日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページアドレス www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

哲学者の梅原猛氏はその著書『現代の大和ごころ』で、風の流れを知る心理のデリカシーこそが風流であり、風の流れは「自然の気配（けはい）」であると述べています。

6月は梅雨空が続き、なかなか窓を解放できない日が続いていましたが、7月に入り、先週から梅雨も明け、一気に太陽がまぶしくなりました。暑さが非常に厳しいですが、朝は先ず窓をめいっぱいにつけて、風の流れを感じ取りたいと思います。

自校給食ありがとう

令和8年度の第1学期が終わります。と同時に、長い間、茂木の子供たちの健やかな成長と確かな学びを根っここの部分から支えてきてもらった茂木小学校での自校給食が終わります。

茂木小学校の給食は、とても美味しいです。その理由は、まず、自校給食であるということ。そして、茂木小と茂木中の分を4名の調理員さんが、安全に、美味しく、心を込めて一生懸命に調理してくださっているということ。お昼ごろには、廊下や階段、そして教室に給食の何とも美味しそうな良い香りがしてきます。実はこれが、子供の脳にも良い刺激を与え、健やかな成長につながります。そして、実際に食べると、とても美味しい！茂木小学校の子供たちは、幸せです。その自校給食が終わってしまいます。時の流れによることとはいえ、とても残念です。

今日は、その最後の自校給食でした。メニューは、夏野菜カレーライス、牛乳、胡麻ドレッシングサラダ、冷凍みかん。茂木小学校給食室でつくる最後の給食にふさわしい子供たちが大好きなカレーでした。やはり、たいへん美味しかったです。

「茂木小学校の給食は、美味しいですねー！」

赴任してきた先生たちが、みんな口にする言葉です。子供たちはもちろんのこと、私たち職員も働く元気をたくさんいただけてきました。茂木小学校の給食の時間は、みんなが一番楽しみにしている、みんなが幸せになる「えがおいっぱい！」の時間です。

茂木小学校の給食室は、令和2年に長崎市の管轄から業者委託となり、(株)Gooさんの管轄となりました。そして、昨年9月からは、受託業者が(株)ハーベストネクストさんにかわりました。管轄は変わってきましたが、調理員さんたちは、ほとんどがそのまま残ってくださり、今日まで茂木小学校の給食室をしっかりと守ってくださいました。

調理員のみなさん、長い間茂木小学校のために、本当にありがとうございました！

2学期9月からは、(株)ハーベストネクストさん管轄の南部給食センター（香焼）から、出来上がった給食が送られてくるようになります。茂木小、茂木中をはじめ、南部の23校に給食が提供されます。8月25日（火）は、その最終リハーサルです。この日は、子供たちも実際に準備したり、喫食したりして、2学期のスタートに備えます。その関係で、8月25日（火）は、登校日となっていますので、ご協力をよろしくお願いします。

いよいよ夏休み

夏休みの思い出と言えば、世代によって異なるかもしれません。私の時代は、ラジオ体操、カブトムシ・クワガタ採り、セミ採り、海水浴、釣り、川遊び、昼寝、スイカ、山に入って秘密基地づくり、お盆、お墓参り、花火、精霊流しなどなど。今も変わらぬ思い出はあるものの、どうやら子供だけで体験できる思い出が少なくなったように思います。

夏休みとは、本来、子供を解放し、「遊び」という子供にとって最も大切な営みを、全身で体験させる期間です。近年は、子供の安心・安全のために様々な規制があり、子供だけの時間、子供だけの場なくなってきました。それは、時代の流れとともに必要な要件ともなり、仕方のない制約なのですが、夏休みの思い出が「ゲーム」「YouTube」などと答える子供をつくりたくありません。

とはいえ、7月に入り、長崎市内でも児童が川に流されてしまい、みんなとても心配したところです。自分事としてしっかりと受け止めなければなりません。夏休みは、水の事故がさらに多くなります。自転車の乗り方、道路の歩き方、交通事故にも十分注意をしてほしいと思います。また、日本各地でクマとの遭遇による事故も増えています。家族で登山等を計画される場合は、山での事故にも十分に気を付けられてください。熱中症など、他にも注意すべきことがたくさんありますが、夏休みは、安全・安心を確保しながら、次のようなことを子供が体験できるよう、切に願っています。

- 屋外で日頃体験できない、自然の営みを感じる体験をしてほしい。
- 自分の力で、何かしら成し遂げる体験をしてほしい。
- 継続しなければ価値が生まれない、積み重ねの体験をしてほしい。

夏休みの登校日は、8月9日（日）と8月25日（火）です。9日は、平和祈念集会をして、平和への願いを確かにします。25日は、2学期からの学習準備と給食リハーサルです。学校閉庁日は、8月10日～16日です。9月1日（火）、多くの思い出話をもった元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

若菜川を眺めて

「子供が変わった。」とは、大人の視点からの言葉だろうと思います。確かに、私が子供の頃に比べると生活環境は変わりました。そうした変化をもっとも受けるのは子供ですから、子供が変わったように見えるのは仕方ありません。私は、「子供の本質は変わっていない。」と信じています。

しかし、多様化していると感じているのも事実です。その多様化した現状にどう対応するのかを考えると、「大人の視点から」を変えていかなくてはと気付くようになりました。

「スーツケースから風呂敷へ」という言葉があります。スーツケースは型と大きさが決まっていますので、それに合わない型や大きさを受け入れることができません。一方、風呂敷は、多様な型や大きさに応じてその包み方を変えることができます。長い棒であっても、いびつな形であっても包むことができます。これが「大人の視点から」を変える方法です。

子供は、大人の用意した型や大きさに収まらないものです。風呂敷のように、その子にあった包み方ができる大人でありたい。願ひばかりですが、そう考えています。